

日光白根山(雪山)山行報告



【山行日】 2015年12月 20(日) 快晴
【集 合】 栃木市運動公園P AM 4:30
【費 用】 マイカー1台 : 2,000円
【メンバー】CL:鈴木、石川、香川、津佐、松館、
【コースタイム】栃木市運動公園 P4:30=赤沼茶屋
5:45/6:05=菅沼登山口 P6:35/6:50~弥陀ヶ池
8:45/9:00~白根山 9:55/10:25~弥陀ヶ池
11:10/11:40~菅沼登山口 P12:45/12:55=
栃木市運動公園 P14:40

雪山山行の要望があり、日光白根山山行を計画した。

4名とも雪の白根山は初めてなので、先週那須茶臼岳で雪山トレーニング山行を受けて臨んだ。

さらに宇都宮 HC の八木澤氏にお願いし、宇都宮 HC の後ろを歩かせてもらうことにした。

赤沼茶屋のトイレに着くと、宇都宮 HC の方々は準備が済み出かける所だった。

八木澤氏に挨拶し、後から行くので先に菅沼登山口へ出発してもらう。

菅沼登山口に着くと、宇都宮 HC のパーティーが出発するところだった。それにしても車が駐車場へ入れるのも驚いたが、車の台数も半端ではない。今まで何回も来ているが、こんな光景は初めてで秋の紅葉時季くらいの登山者が



いた。我々も準備して出発し、宇都宮 HC の後を追いかける。

雪は少ないが、ほど良くあり締まっていて歩き易い。案内板の前で写真を撮り、沢沿いの道を進み、途中から右に急な斜面を登るようになる。コメツガやアスナロの針葉樹林の中、ジグザグの道を雪に足を取られないよう慎重に登る。弥陀ヶ池まで500mの標識を過ぎると傾斜が緩くなり、座禅山を巻き平坦な道を行くと弥陀ヶ池に着く。池の手前で宇都宮 HC のパーティーがアイゼンを付けていたが、我々は池

の先でアイゼンをつけることにする。池に先の広場では数組の登山者がアイゼンを付けていた。

我々もアイゼンを付け、休憩をとってミカンとアンパンでエネルギーを補給する。

ここから少し登ると座禅山の鞍部に出て、ここから左に曲がり急な登りが始まる。



燧ヶ岳や会津の山々、富士山まで望める。大勢の登山者で賑わっており、写真を撮るのも順番待ち。記念写真を撮ったら山頂を後にし、直ぐ北側のピークで大休止。素晴らしい展望を楽しみながら、リンゴやチョコですいたお腹を満たす。展望を楽しんだら来た道に戻るが、登って来る人が多く交差するたびに待たされる。途中で宇都宮HCのパーティーに追いつき、弥陀ヶ池まで降りてお別れした。我々は弥陀ヶ池でランチタイ

I川さんが急な登りで踵が痛いと言うが、「皆同じだから我慢して」と返して登り続ける。森林限界を過ぎると眼下には弥陀ヶ池や菅沼、遠くに燧ヶ岳や会津の山々が望める。高度が上がるに従い増々急登になり、岩場を登りきるとゆるやかな登りとなる。一旦下ってから、大きな岩の間をぬって登ると白根山山頂に出た。山頂からは360度の眺望が得られ、日光連山はもちろん、



ムとする。お湯を沸かし、各自持参したカップ麺やスープで昼食を摂る。真っ青な空にそびえる白根山を見ながら食べるカップ麺は格別に美味しく感じた。風も無く暖かな天気で、多くの登山者がランチを楽しんでいた。弥陀ヶ池から一気に下り、菅沼駐車所の手前で宇都宮HCに追いつき、お礼の挨拶をして車に乗る。皆さん初めて雪の白根山に登頂出来、達成感と満足感に満ち溢れたいい笑顔をしていた。会話も弾み、1月の北八天狗岳山行の話題で盛り上がった。

途中大谷PAに寄り、ご褒美のソフトクリームを食べて

お土産を買い、予定より早く帰着出来た。

